

環境レポート

2018



環境マネジメント

	Page
会社概要 マネジメントシステム体制	2
CSR方針	3
マテリアルフロー	4
各種データ	5
環境規制値の順守状況	6

環境保全活動

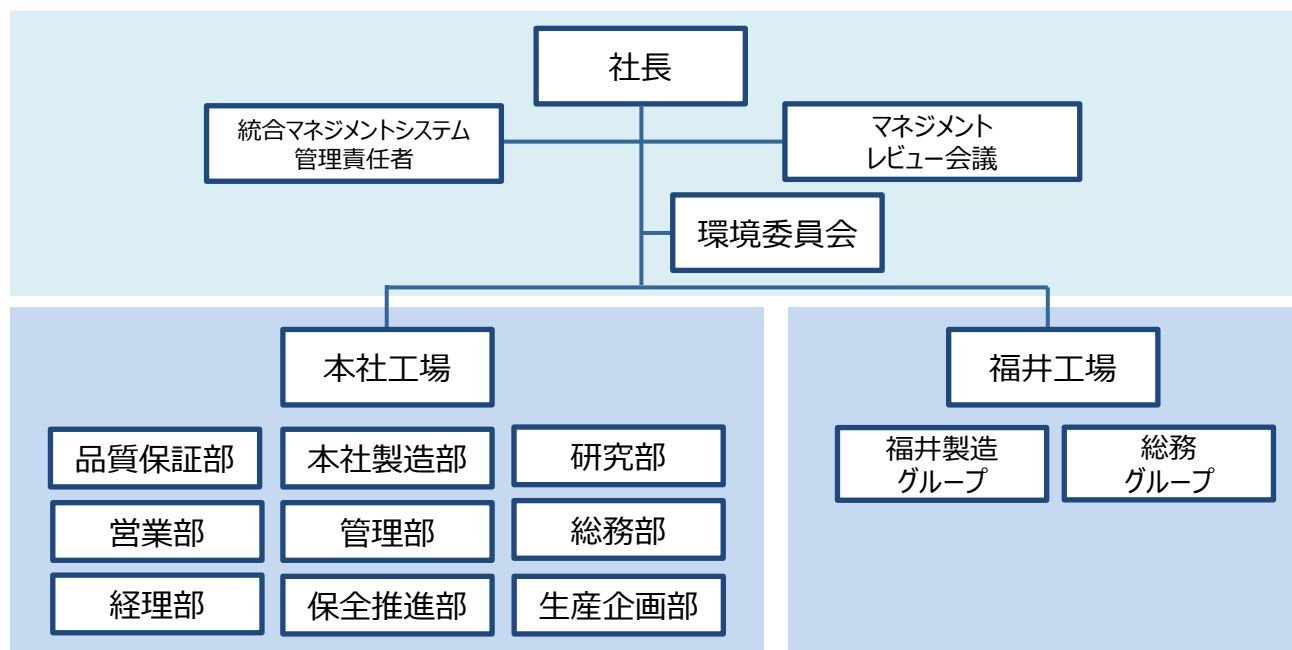
SDGs活動紹介	8
省エネ活動取組紹介	11
環境コミュニケーション	12
地域社会とのかかわり	13
教育支援活動紹介	14

会社概要

会社名	小西化学工業株式会社
本社所在地	〒641-0007 和歌山県和歌山市小雑賀3丁目4番77号 TEL：073-425-0331（代）
福井工場所在地	〒913-0038 福井県坂井市三国町テクノポート2丁目8-2 TEL: 0776-43-0331（代）
創立	1962年（昭和37年9月）
売上	42億円（2018年3月期）
代表者	代表取締役社長 小西 弘矩
従業員数	118名（2018年3月末時点）
事業内容	情報電子材料、機能性樹脂、感熱紙用顕色剤、ポリマー改質剤、 エポキシ樹脂硬化剤、ケイ素系有機・無機ハイブリッド材料等、 機能性化学品の開発・製造・販売及び受託製造

環境マネジメントシステム体制

本社では2002年5月に、福井では2014年11月に環境マネジメントシステムISO14001の認証を取得し、環境保全活動に積極的に取り組んでいます。またCSR方針を2011年に制定し環境への負荷に配慮し省資源、省エネルギー活動を推進しています。



私たち小西化学工業株式会社は事業活動を通じ、企業の社会的責任を果たし、持続可能な社会の実現に貢献し、同時に会社を永続させるため、CSR活動を実施してまいります。

1

事業活動において適用される国内外の法令及びその他の要求事項を順守してまいります。

2

無事故、無災害の継続とリスクマネジメントにより地域社会と社員の安全を確保します。

3

製品の開発、生産、廃棄にいたるライフサイクルの全てのステージにおいて環境への負荷に配慮し、汚染、漏洩、流出の防止に努めるとともに、化学物質の適正管理を行います。

4

製品安全を進め、品質管理の徹底と管理レベルの向上により、お客様から信頼され、愛される製品を作ります。

5

省資源・省エネルギー活動を積極的に推進し、CO₂の排出削減、地球温暖化の防止に努めます。

6

社員の多様性・人権を尊重し、生き生きと働きやすい環境の確保に努めるとともに、業務を通じ自己実現を援助します。また、児童労働や強制労働を排除します。

マテリアルフロー

【2017年度環境負荷全体像本社・福井工場合算】

I N P U T	エネルギー	水資源	原材料
			
	4,238 KL ※原油換算	332 キトン	フェノール 等



事業活動		
	 本社工場	 福井工場

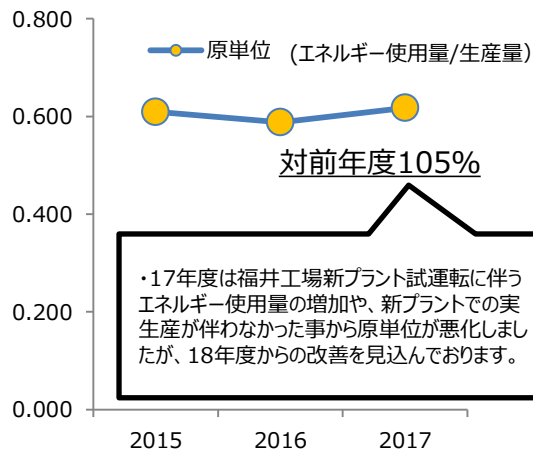
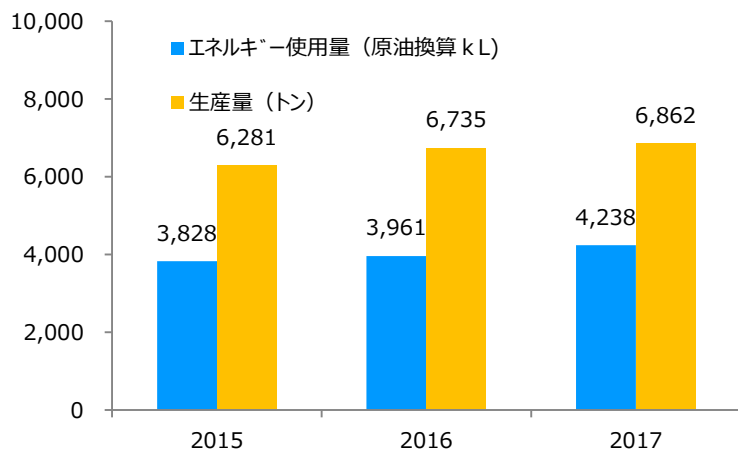


O U T P U T	大気排出	排水	廃棄物	製品
				
	CO ₂ 8,800 トン	175 キトン COD 25 トン	6,126 トン	6,862 トン

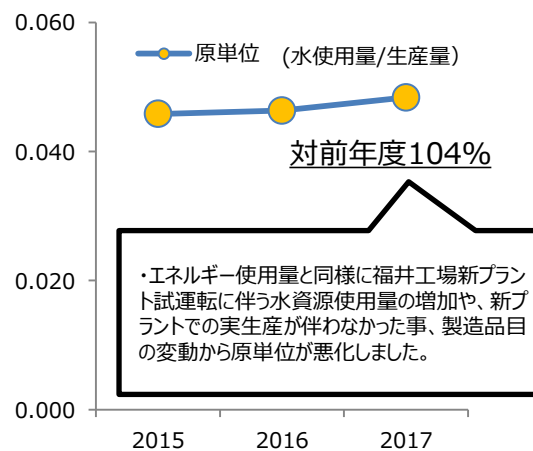
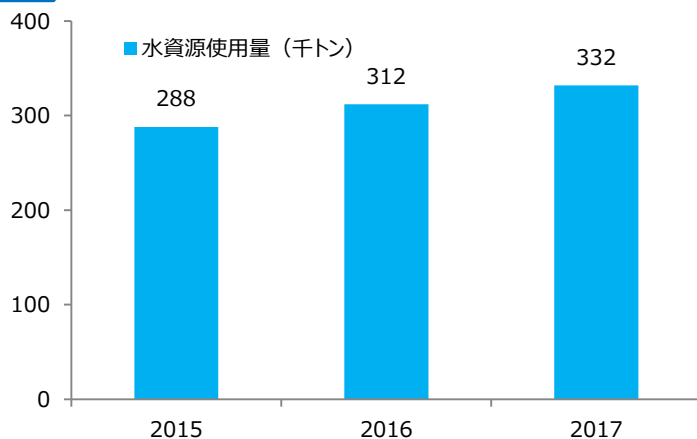
各種データ（2015年度～2017年度）



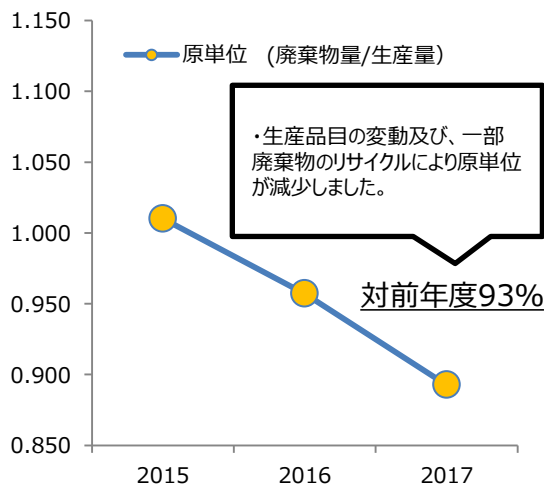
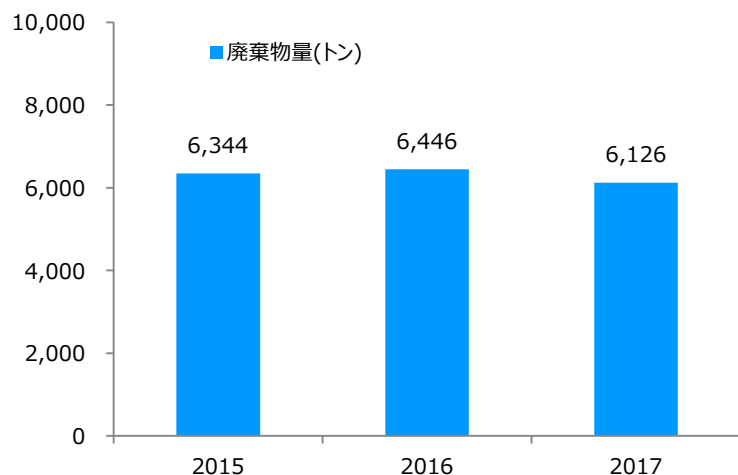
生産量・エネルギー使用量（2015-2017）



水資源使用量（2015-2017）



廃棄物量（2015-2017）



環境規制値の監視・順守状況

環境影響に配慮することが企業の重要な責務であると考え、小西化学では法規制を順守すべく、各規制値に対し監視・測定を実施しています。

【2017年度】

化学物質管理

PRTR法に基づき、指定された物質の排出量、移動量の届け出を行っています。
(※PRTR法については次項参照)

大気汚染防止

各ボイラーから排出されるばいじん及びNO_x（窒素酸化物）を定期的に測定し排出基準値内である事を監視しています。

本社工場 ※全てガス専焼ボイラー：酸素濃度5%換算値

測定箇所	測定項目	排出基準値	測定結果	
			上期	下期
蒸気ボイラー	ばいじん	0.1 g/m ³ N	0.01未満	0.01未満
	NO _x	150 Volppm	17～27	24～76
熱媒ボイラー	ばいじん	0.1g/m ³ N	0.01未満	0.01未満
	NO _x	150 Volppm	52～78	73～87

福井工場 ※全て重油専焼ボイラー：酸素濃度4%換算値

測定箇所	測定項目	排出基準値	測定結果	
			上期	下期
蒸気ボイラー	ばいじん	0.15g/m ³ N	0.01未満	0.01未満
	NO _x	150 Volppm	37～41	49～54

水質汚染防止

工場排水を定期的に測定し排出基準値内である事を監視しています。

本社工場 ※主要項目抜粋

測定項目	和歌山市 下水道排出基準	実績値
pH	5を超え9未満	7.3～7.4
BOD (生物化学的酸素要求量)	300mg/L未満	111～182
SS (浮遊物質)	300mg/L未満	18～58
着色度	日間平均80以下 最大120以下	14.1～56.5

福井工場 ※主要項目抜粋

測定項目	福井県臨海 下水道条例	実績値
pH	5を超え9未満	6.7～7.8
BOD (生物化学的酸素要求量)	600mg/L未満	8～100
COD (化学的酸素要求量)	600mg/L未満	7～52
SS (浮遊物質)	600mg/L未満	3～70



ワンポイントレッスン

PRTR法とは？

Pollutant Release and Transfer Register(化学物質排出移動量届出制度)の略称です。

これは、有害性のある多種多様な化学物質が、どのような発生源から、どれくらい環境に排出されたか、あるいは廃棄物に含まれて事業所の外に運び出されたかというデータを把握し、集計し、公表する事で『化学物質をしっかり管理して、環境問題がおきないようにしよう！』という仕組みです。

対象物質は人や生態系への有害性(オゾン層破壊性を含む)があり、環境中に広く存在する(暴露可能性がある)と認められる物質が指定されています。



国際社会が取り組むべき社会的課題として、
‘15年9月に「持続可能な開発目標(SDGs)」
が国連総会で採択されました。

SDGs社内勉強会

‘17年7月よりSDGsに関する勉強会を開始しました。
当社における製品や日常業務とSDGsの関係を製品編と活動編にまとめ、11月に社内で発表しました。



SDGs講演会

‘17年末の福井視察研修会では、住友化学のSDGs担当部長様より住友化学のSDGs活動についてご講演を頂きました。
同社は日本の企業の中でもいち早くSDGs活動に参加された企業です。



これらの勉強会や講演会は、社員一同でSDGsに対する理解を深める貴重な機会となりました。

2018年の初出式にて小西社長から“キラリ！KONISHI SDGs宣言”のキックオフが発表されました。環境委員会を中心に、全社を挙げて積極的にSDGs活動を推進して参ります。

TOP MESSAGE

SDGs(持続可能な開発目標)と言う国連が推進する壮大な目標に小西化学という小さな会社が本当に貢献できるのか？

自分達の製品や研究開発テーマの背景にある課題とアプリケーションを良く理解すると、17の開発目標の幾つかに我々も既に関わっていることがわかります。

この事に気が付いたとき、化学という技術を通じてお客様のお役に立ちたいと考えてきたことに改めて喜びと誇りを感じる事が出来ました。

今まで以上に開発テーマのアプリケーションに関心を持ち、少しでもSDGsに貢献できる製品を創出していきたいと考えます。

代表取締役社長

小西弘矩

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



サステナブルツリー

サステナブルツリーとは社員が日頃の業務を通じてどのようにSDGsに貢献していきたいかの宣言をし、その宣言を飾りつけたツリーのことです。

社員一丸となってサステナブルツリーに参加することで、SDGsの活動に興味を持ち、SDGsに貢献しようとする意識を高める活動です。

福井工場では、既にサステナブルツリーをエントランスに掲示しています。

本社工場においても18年度には、サステナブルツリー活動を予定しており、各々の宣言をツリーに飾り付けサステナブルツリーの作成を行います。

全社一丸となって、製品のアプリケーションに関心を持ち、少しでもSDGsに貢献できる製品を作って行きたいと考えます。



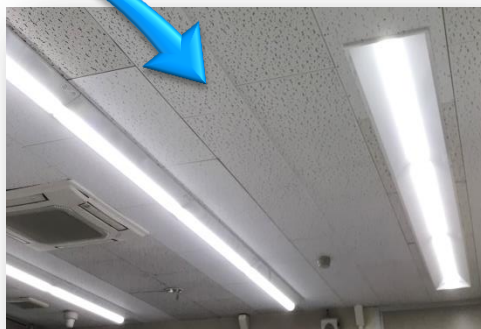
小西化学のSDGsへの貢献（主力製品 DHDPS）

用途	分野	SDGsへの貢献
スーパーエンジニアリングプラスチック用途	電気電子分野 熱水分野 航空機・自動車分野 膜分野	 
顕色剤用途	感熱式記録用紙分野	 



【省エネ活動取組】

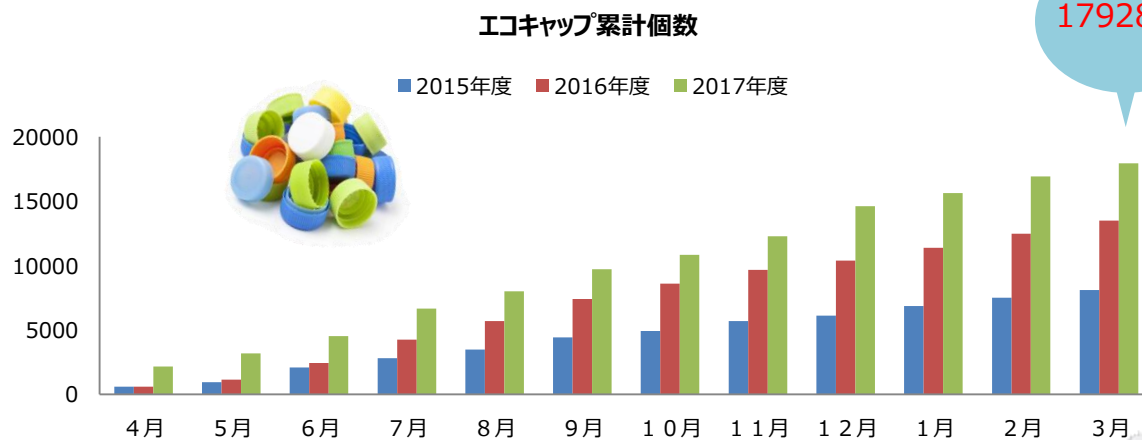
本社事務所棟内の蛍光灯を全てLEDへの入れ替えが完了。
また蛍光灯に比べ寿命が長いことメンテナンスコストの削減にもなりました。



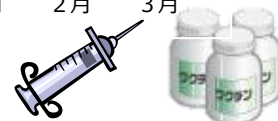
1年間で約19,000KWhの使用電力量削減への取り組みとなります。

【エコキャップ運動】

運動の浸透により年々集まるキャップの数が増加してきました。



約22本のポリオワクチンを寄付する事ができました。



【標語川柳コンテスト】

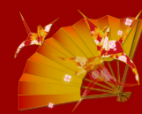
第8回目となる標語・川柳コンテスト
最優秀賞・社長賞・優秀賞が表彰・掲示され、
日々の業務の中で環境活動への取り組み意識が高まります。



環境部門

最優秀賞

要るからと 整理できない 保存箱



製造部

社長賞

埃さえ 入れぬ気持に 社の誇り



研究部



他にも優秀賞が3作品が選ばれ、毎年力作揃いです

【視察研修会】



SDGs講演会



福井工場研修会



2017年12月は本社工場から福井工場
への視察研修会が行われました。

【地域活動】



和歌山 港祭り



三国花火大会



缶サット甲子園和歌山大会

和歌山港祭り、三国花火大会
缶サット甲子園和歌山大会等
様々なイベントに協賛し
地域社会の活動応援に取り組んでいます。



【環境パトロールと事業所周辺清掃】

地域貢献活動の一環として
毎朝、事業所周辺（本社工場）
の清掃を行っています。
また、事業所（本社工場）
周辺の臭気や騒音など
異常が無いか、昼夜2回の
パトロールを実施しています。



環境パトロール



清掃活動



【インターンシップ】



2017年度は4名の学生を受け入れました。
当社のインターンシップでは、研究部にて、
ラボ実験、分析、データ整理、レポート作成
など、1週間程度で実際の研究開発業務を
体験して頂きます。
化学企業で働くとはどういうことかを実践を
通して学ぶことができます。

研究部員メッセージ

インターンシップを通して、大学との違いや
実験結果・考察をまとめる難しさを体験し
てもらいました。
このインターンシップの経験が将来の進路
選択に役立つことを願っています。

参加者の感想



- 会社の雰囲気がとても良かった。社員同士は気軽に相談や話し合いをしていて、効率的に仕事を進めているように見えた。（大学2年生）
- 研究開発職の仕事をイメージしやすくなった。（大学2年生）
- 実験する前に安全対策を入念に行ったことが印象的だった。（大学2年生）

